

令和8年度 小樽市立幸小学校 学力向上改善プラン

1 児童の実態

- ◆ 児童の実態を下記の観点から数値をもとに文章で記載。
- ① 前改善プランの定着目標の達成状況
 - ② 全国学力・学習状況調査結果（教科）
 - ③ 標準学力調査
 - ④ その他の検査（確認テスト、単元テスト等）
 - ⑤ 全国学力・学習状況調査結果（児童質問）
 - ⑥ 家庭生活及び学習の状況等（児童アンケート等）

2 学年ごとの定着目標（数値目標）

<国語科>

学年	定着目標
1年	・該当学年の漢字の読み 自作テスト得点率90%以上 ひらがな・カタカナ 自作テスト90%
2年	・該当学年の漢字の読み 小テスト得点率90%以上 ひらがな・カタカナ(含、拗音・促音・濁音) 小テスト得点率90%以上
3年	・該当学年の漢字の読み 小テスト得点率90%以上 格助詞の識別・かき分け 小テスト得点率100%
4年	・該当学年の漢字の読み 小テスト得点率90%以上 主語・述語・修飾語の識別 100%
5年	・該当学年の漢字の読み 小テスト得点率90%以上 ローマ字 小テスト得点率 80%以上
6年	・該当学年の漢字の読み 小テスト得点率90%以上 ローマ字 小テスト得点率 100%

<算数科>

学年	定着目標
1年	・10の補数 1分間で10問解正答できる
2年	・繰り上がりのある1桁+1桁のたし算 1分間で10問解正答できる
3年	・1桁×1桁のかけ算 1分間で10問正答できる
4年	・1桁×1桁のかけ算 50秒間で10問正答できる
5年	・1桁×1桁のかけ算 40秒間で10問正答できる
6年	・1桁×1桁のかけ算 30秒間で10問正答できる

<学習・生活習慣（家庭学習等）>

学年	定着目標
1年	・70%の児童が家庭学習1日20分
2年	・70%の児童が家庭学習1日30分
3年	・70%の児童が家庭学習1日40分
4年	・70%の児童が家庭学習1日50分
5年	・70%の児童が家庭学習1日60分
6年	・70%の児童が家庭学習1日70分

3 目標を達成するための具体的な方策

(1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ① 定借目標に関わる宿題の取組

(2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ① 授業における様々な方法を用いて説明・表現する場面の設定

(3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ① 全校で統一した家庭学習(宿題)の提示
- ② 生活リズムチェックシートを活用した生活習慣の振り返り

4 実施計画

年月日	計画内容
R8年	
4月	・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施 ・チャレンジテスト（前年度問題）の実施 ○R8全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査 自己採点 ○標準学力調査実施（第3学年・第5学年）
5月	・全国学力・学習状況調査の自校採点後の分析
6月	・生活リズムチェックシートの活用 ・家庭学習意識向上の取組 ○標準学力調査結果分析
7月	・前期学校評価による実態把握・分析 ・チャレンジテスト（1学期末問題）の実施
8月	○R8全国学力・学習状況調査結果分析
9月	・交流授業参観による授業改善の促進
10月	○保護者への調査結果の説明 ○学力向上改善プランの評価・改善
11月	・ICTスキル向上の取組（タイピング等）
12月	・チャレンジテスト（2学期末問題）の実施
R9年	
1月	・後期学校評価による実態把握・分析 ・生活リズムチェックシートの活用 ・学力向上検討委員会「確認テスト」の実施
2月	・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施
3月	・チャレンジテスト ・学力向上プラン評価 ○新学力向上改善プランの作成

5 評価方法

(1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ① 学期末の小テストを実施

(2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ① 校内研究を軸とした実践交流・公開授業

(3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ① 学校評価アンケート（児童・保護者）関連項目の分析
- ② 生活リズムチェックシート